

## 3年生は今 すばらしき授業態度とは・・・

3年生は、いよいよ進路実現に向けて、私立高校受験用書類を提出したり、公立高校の受験校を絞り込んだりと、忙しい日々が続いていると思います。体調をしっかりと管理して、目標を見失うことなく、焦らず一歩ずつ進んでほしいと思います。

最近では普通教室にエアコンが整備されたり、寒さのため教室のドアが閉まっていたりするのではなかなか3年生の教室にお邪魔する事はありませんでした。何より授業に集中している3年生に申し訳ないと思い、しばらく授業参観を控えていましたが、先週の金曜日、そして今週月曜日に全クラスの授業を参観させていただきました。

全クラス、相変わらずの素晴らしき授業態度は、3年生がこれまで積み上げてきた学校生活の集大成のようなものを感じます。進路を控えている事ももちろん理由の一つではあると思いますが、この素晴らしき授業態度は、私が昨年赴任した4月に見た第2学年だった状態とほとんど変わらないものであり、それ以上に深化しています。

ある学級の英語の時間では、多くの生徒が挙手し、担当教師とALTのマット先生と積極的なやり取りをしていました。また、あるクラスでは真剣に先生の話聞き、ノートに書き写し、私語が全くありません。数学の授業では、先生からの質問に次々と答え、生徒同士も互いに明るく学びあい、教えあい、質の高さを感じました。しかもこれらの授業を参観したのは給食後すぐの5時間目の授業だったので、生徒達の集中力の高さに驚きを感じます。

金曜日は、5つのクラスを参観しました。そして昨日の月曜日、他の3クラスもやはり、同じように素晴らしき授業態度でした。ただ話を聞いているだけではなく、多くの生徒が挙手し、自分の考えを発表したり、隣の生徒と教え合ったり、グループで話し合いをしたりと、決して受け身ではない授業態度は本当に感心します。3年間で、毎年向上し続けた標準学力検査の結果もこのような授業に参加する姿勢も大きな要因ではないかと感じます。

3年生の姿勢を見ながら、授業態度とは何かを、深く考えさせられました。私達の時代は先生の話だけをただ聞いているだけのいわゆる受け身的な授業が多かった事を記憶しています。しかし、今は、一つの課題をペアやグループ、そして全員で話し合ったりする事で、他者の考えを知り、異なる考えがある事を知ったり、その中からまた自分の考えを整理したりと、協同的であり協働的な学び方も多くなりました。知識をつめ込むだけではなく、その知識を使って課題を解決していく学習も増えました。彼らの授業態度を見ていると、ある時は私語がなく、ある時は、互いに意見を出し合い、ある時は真剣に考え、授業に向き合う姿勢が教師と一体化しているのを感じます。

私語が多かったり、授業に関係のない事で時間が割かれたり、忘れ物が平然と許される雰囲気になってしまったら、授業は成立しなくなるだけではなく、結局は自分や自分達の集団にはねかえってきます。3年生の授業態度を見ていると、それぞれの授業において生徒達自身で前向きな雰囲気を創り出しているのを感じます。

卒業するその日まで、自分達が築き上げてきた3年生としてのあるべき姿を忘れずにいてほしいと願っています。